授業計画（シラバス）

■科　目	臨床心理学	■講師名　近藤　卓

Ⅱ部１学年　　中期　８コマ（1ｺﾏ 90 分授業）　　総時間 15 時間　　講義１単位

■学修概要

この授業では、臨床心理学の基礎を学ぶことを通して、自己理解を深めつつ、人と人の関係に対する理解を深める。患者の立場を理解して信頼関係を構築し、歯科衛生士として職務を果たしていくために役立つ、臨床心理学の理論と方法について理解を深める。

■授業目的、到達目標

・良好な対人関係を構築するために、臨床心理学の基礎的な考え方を理解できる。
・人間の行動を心理学的に考察し、問題行動への対応について理解できる。
・人と人のコミュニケーションの多様性を理解し、現実の場面での人の心の動きについて理解できる。

■授業方法

1. 教科書、視聴覚教材及びパワーポイントを用いた解説
2. グループワークなどの演習による体験的学習

■教科書（書籍名・出版社）

近藤卓著『生活カウンセリング入門』大修館書店

■成績評価・講義上の注意

評価：定期試験および授業態度（話し合い等の参加、リアクションペーパー）で総合的に評価する。
注意点：受動的な受講に留まらず、自分の経験や実践に結び付けて考える能動的態度が望まれる。

■実務経験

資格・学位；臨床心理士。博士（学術）。
所属学会；日本学校メンタルヘルス学会・理事、日本いのちの教育学会・理事長。
経歴；東京大学大学院教育学研究科博士課程満期退学、高等学校教諭、中学校高等学校カウンセラー、ロンドン大学医学部研究員、東海大学教授、山陽学園大学教授などを経て、現在日本ウェルネススポーツ大学教授。

■授業計画（講義の流れ）

1	授業の方法と内容（自己紹介、臨床心理学を学ぶことの意味）
2	心と健康（心とは何か、健康とは何か）　p8-16 魅力と人間関係（人間関係構築の鍵になる人の魅力を考える）　p18-26
3	並ぶ関係と向き合う関係（人間関係の二つの基本形）　p35-41 自分を大切に思う気持ち（自尊感情の考え方と育み方）
4	コミュニケーションの成り立ち（二人のコミュニケーションの仕組みとリーダーシップ）　p56 言語表現と非言語表現（コミュニケーションを構成する二つの表現）　p26-30, 41-44
5	コミュニケーションの障害（心の病気や障害）p60-129　集団心理（集団の中の個人） カウンセリングの方法と考え方 p136-138, 143-152
6	精神分析理論（フロイトの自我理論）　p139-140 と交流分析理論（バーンのエゴグラム）　p140-141 来談者中心療法（ロジャーズによる面接の方法）　p138-139
7	振り返りとまとめ（臨床心理学を日常にどう活かすか）
8	定期試験、解答解説